

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年06月08日

計画の名称	柏駅周辺地区の基盤整備によるまちの活性化												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	柏市												
計画の目標	柏駅周辺地区は都市基盤整備の推進を図るため、昭和63年に柏駅東口周辺地区再生計画を、平成22年に柏駅西口北地区地区再生計画を策定し、街づくりと一体の基盤整備を進めている。 このような中、再開発事業及び道路整備による商業施設、公共施設、道路等の都市機能の更新を行い、魅力ある都市空間と中心市街地の活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,084	A	7,958	B	111	C	15	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.18	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H24当初	H26末	H31末
1	駅周辺地区の人口を16%増加させる。 柏駅周辺の町(未広町, 旭町1丁目, 中央町, 柏1, 2, 4, 丁目)の平成24年度当初と平成31年度末の定住人口の比較	3600人	3600人	4200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画の期間(平成24年度~平成31年度)8年間												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	再開発	一般	柏市	間接	柏駅東口D街区第一地区市街地再開発組合	-	-	柏駅東口D街区第一地区市街地再開発事業	区域面積A=0.8ha 延床面積A=44,000㎡	柏市					7,624		-	
		事業実施期間(平成24年~平成27年)4年間, 地区再生計画区域																	
	A13-002	再開発	一般	柏市	間接	柏駅西口北地区市街地再開発準備組合	-	-	柏駅西口北地区都市再開発支援事業	区域面積A=3.8ha	柏市					77		-	
		地区再生計画区域, 事業実施期間(直接)平成26年~平成28年,(間接)平成29年~平成30年(5年間),平成31年度は平成30年度の繰越分のみ																	
A13-003	くらにぎ	一般	柏市	直接	柏市	-	-	柏市文化交流複合施設設置事業	整備床面積A=2,300㎡	柏市					257		-		
	中心市街地活性化基本計画																		
											小計					7,958			
											合計					7,958			

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	B13-001	道路	一般	柏市	直接	柏市	-	-	元町通り線・中通り線整備事業	元町通り線L=214m，中通り線L=232m	柏市						91		-	
		1-A-1と結ぶ道路を築造することにより，駅前線との歩行者ネットワークの形成をし，駅周辺の快適で安全な歩行者空間の確保を推進する。																		
	事業実施期間（平成24年～平成27年）4年間																			
	B13-002	道路	一般	柏市	直接	柏市	-	-	南通り線整備事業	L=84m	柏市						20		-	
1-A-1と結ぶ道路を築造することにより，駅前線との歩行者ネットワークの形成をし，駅周辺の快適で安全な歩行者空間の確保を推進する。																				
											小計						111			
											合計						111			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	計画・調査	一般	柏市	直接	柏市	-	-	柏駅西口北地区まちづくり事業	計画コーディネートA=3.8ha	柏市						15		-	
		1-A-2の組合施行での再開発事業の事業化を誘導するため、権利者組織の組成を推進する。																		
		事業実施期間（平成24年～平成25年）2年間																		
																			小計	15
																		合計	15	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
柏市都市部中心市街地整備課が事後評価を実施 評価にあたっては、本市の住民基本台帳人口を利用して評価を実施	令和2年度
	公表の方法 柏市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成28年4月に柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業及び柏市文化・交流複合施設設置事業が竣工したことで、駅周辺地区の賑わいや回遊性が向上し、地区の居住需要が高くなったことにより、定住人口が増加したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業の完成により、土地の高度利用化が図られ、防災性が向上したとともに、広場状空地等のオープンスペースが整備された。また、商業・業務・文化機能の強化と充実が図られたことで、地区全体の賑わい創出に大きく貢献した。</li> <li>・駐車場、駐輪場の整備により違法駐車や放置自転車が減少し、交通の安全性が確保され、快適な歩行者空間の創出に寄与した。</li> <li>・『柏市文化・交流複合施設（バレット柏）』が整備され、市民交流センターや国際交流センター、男女共同参画センター等、様々な機能が導入された。市民活動のプラットフォームとして多くの市民に利用されており、完成後の平成29年度では、年間約40万人に利用された。</li> <li>・都市計画道路整備事業により、歩行者優先の環境が整備され、歩行者の利便性や安全性とともに、駅周辺の回遊性が向上した。</li> <li>・柏駅西口北地区において、再開発事業の事業化推進を図ったことにより、権利者主体による事業の実現に向けた機運が醸成され、平成27年6月に市街地再開発準備組合が設立された。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
さらなる駅周辺地区の活性化に向けて、柏駅西口北地区市街地再開発事業の推進を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	4200	
	最終目標値	4200人
	最終実績値	4611人